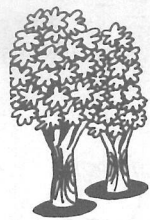




ひろば

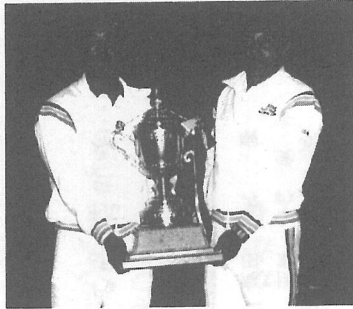


再び 軟式 日本一に

82全日本インドア大会を制した

町の顔

若梅 明彦 薮崎 達規 組

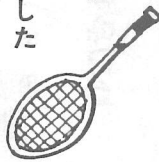


実に見事なものがありません。

成東高校時代の全日本ジュニア優勝をはじめ、中京大ではプレーヤーにとって最高の名誉とされる全日本総合選手権に二連覇を成し遂げ、見事に天皇杯を獲得するなど、数多くのタイトルを手中にしています。

県下でも屈指の名門校として輝かしい伝統を持つ横芝中テニス部。指導に当られる先生方や諸先輩の努力で、数多くの名選手を輩出していますが、中でもこのペアは日本の軟式庭球界を代表する大物に成長しました。

成東高校から中京大と、その道の名門校を経て、現在は共に県下の高校教諭として、後進の指導に当たっていますが、この間の成績は



私のひとこと

役を去って三年、私は専ら孫と共にの生活をしてきた。否せざるを得ない家庭上の事情もあって。

その間孫たちの姿は私の励みであり、心の師であり、慰めでもあった。

その二人の孫が四月から一人は入学、一人は入園と、家庭から一歩外に出る生活に入る。

そこで非行という問題がぐっと私の身近かに迫ってきた感じがする。朝に晩に、目に耳にと、やたら飛びこんでくる非行という言葉に、ああ又か、と思う反面、馴れ過ぎたきらいもある。恐ろ



非行への責任

栗山 滝川とも (元婦人会長)

しいことだ。何故こうなったかは、深く、広く、長い原因が多々あると思う。この問題点の究明は正は勿論必要だし、大切だと考える。しかし、時間は休みなく流れ、子等は日々成長して、待ったが無い。

そこで私は思う……
一時も早く社会活動のバラバラ

の三つの場で成長していく、この三つの場は、全部大人の責任の場である。

そこで私たち大人は、その置かれた場で何をなすべきかを学び、早速行動に移すべきだと考える。子を持つ親は勿論だが、今一番にやらなくてはならないこと……それは住民参加、町ぐるみの非行防止活動だと思ふ。

非行皆無——それは私たち一生のテーマかもしれない。時間のかかるのは当然だが、前に向かって進むより他に道無

一人二人ではダメ、全町民あげて取組むほどの現代の大問題ではないかと考える。

俳壇



土屋 栗水
残雪の崖に猿見し最上川

成田 謙子
かこひ葱小坊主もたぐ菜種梅雨

宇井 芝童
日暮れて辿る千里や椿寿の忌

鈴木 南知
どよめきの駅に燕の巣こもりぬ

鈴木 草庵
花散るや峠の茶屋に串団子

向後 雅子
内外の孫十人や新学期

海保 きみ
初蝶の羽根まだ濡れて手のひらに

若梅あやめ
貝寄風や刑部岬の裾洗ひ

歌壇



北田 ふじ

けだるくて夕餉作らむ気力なく
小雨降る室に立ち難くるき

津田 若菜
笹群にさざやける如風生れぬ葬

り終へて坂下りくれば
待合室に診察を待つ幼な孫吾が

手しつかと握り離さず
若しみもこらへ寡黙の娘となり

て顔ちあへなき世界もちきぬ
齊藤つね子